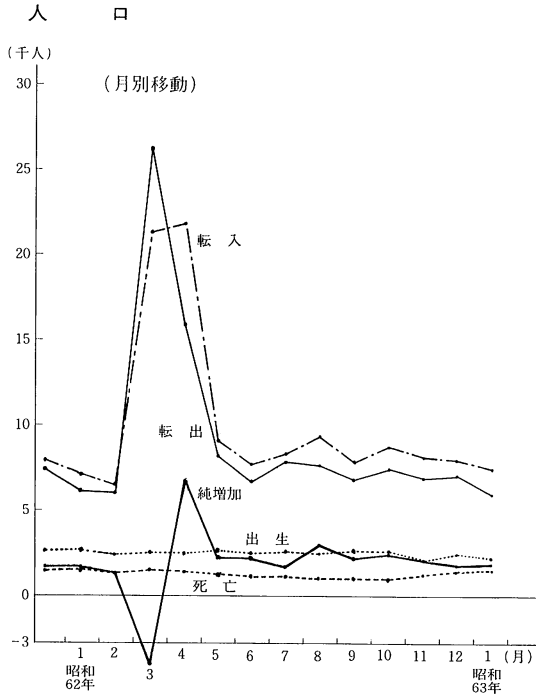
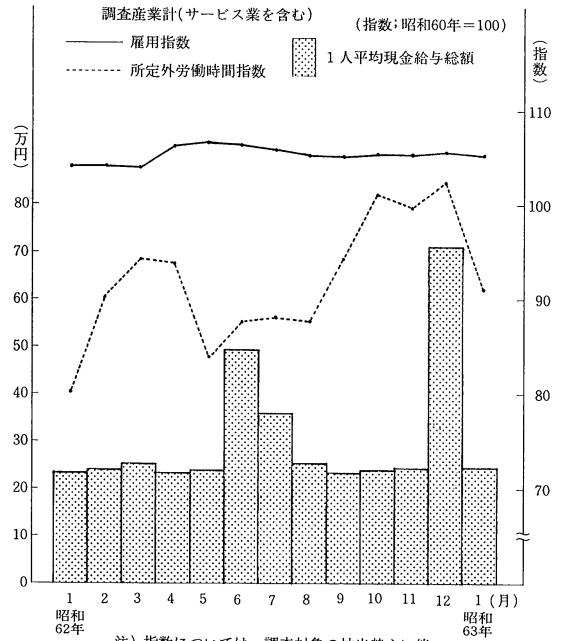


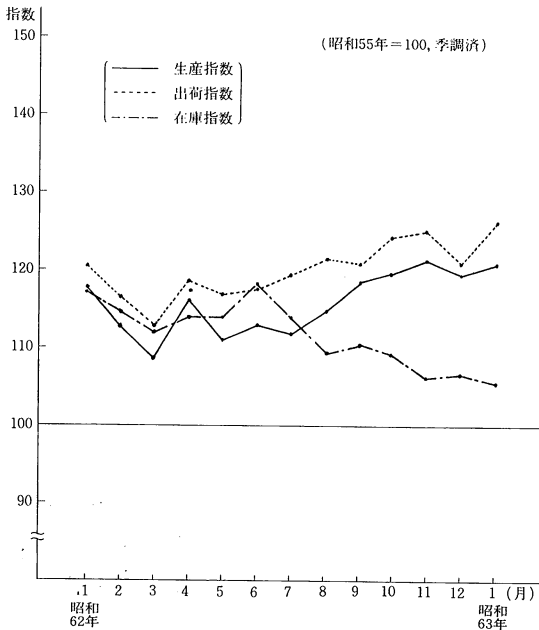
今月の主な動き



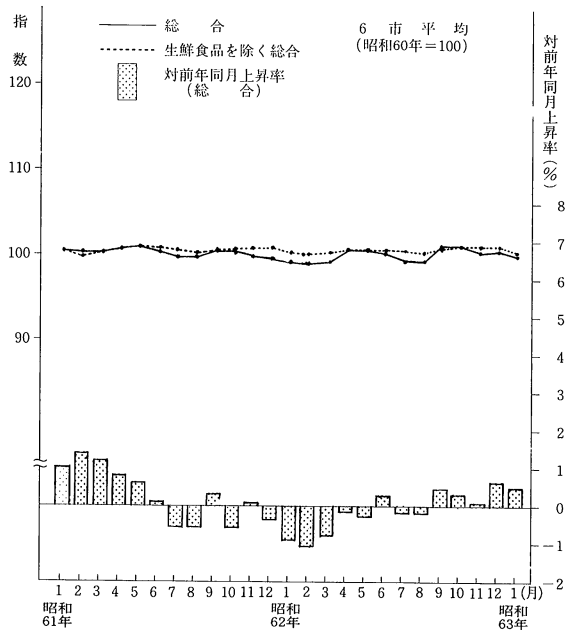
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (2月1日)

本県の人口は、1月中に2,104人増加し、2月1日現在で2,778,921人(男1,384,924人、女1,393,997人)となった。

内訳は、自然動態で651人(出生2,397人、死亡1,746人)、社会動態で1,453人(転入7,567人、転出6,114人)、それぞれ増加した。昨年2月1日現在と比較すると、数で25,173

人、率で0.91%の増加である。

市町村別では、増加が17市39町村、減少が3市26町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても、1,005世帯増加して、786,309世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

1. 平均賃金の推移

1月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は248,353円で前月に比べ64.8%減(前年同月比7.8%増)であった。

このうちきまって支給する給与は238,864円で前月に比べ1.1%減(前年同月比4.7%増)であり、特別に支払われた給与は9,489円で前年同月に比べ6,957円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は166.0時間で、前月に比べ8.2%減(前年同月比3.2%増)であった。

このうち所定内労働時間数は149.8時間で、前月に比べ7.8%減(前年同月比2.1%増)であり、所定外労働時間数は16.2時間で、前月に比べ11.2%減(前年同月比13.7%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると105.4で、増減率は前月に比べ0.3%減、前年同月に比べ0.9%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (1月分)

本県における昭和63年1月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が120.8、出荷が126.8、在庫が105.8で前月比は、生産が1.0%の上昇、出荷が4.7%の上昇、在庫が△1.0%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が2.8%の上昇、出荷が5.5%の上昇、在庫が9.6%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、金属製品工業等が上昇し、輸送機械工業、一般機械工業、その他工業等が低下した。出荷では、鉱業、精密機械工業、電気機械工業等が上昇し、そ

の他工業、輸送機械工業、繊維工業等が低下した。在庫では、食料品・たばこ工業、窯業・土石製品工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、精密機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、資本財が低下した。出荷では、資本財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財が低下した。在庫では、非耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (1月)

昭和63年1月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.0(昭和60年=100)となり、前月比0.5%の下落、前年同月比0.5%の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物11.8%、野菜・海藻1.8%、油脂・調味料0.8%、家庭用耐久財0.4%、履物類0.2%、医薬品0.1%

今月下がった主な項目……衣料△7.7%、他の光熱△2.9%、シャツ・下着△2.5%、電気・ガス代△1.4%、生地・他の被服類△1.1%、教養娯楽耐久財△0.5%、他の教養娯楽△0.4%

生鮮食品を除く総合は100.4となり前月に比べ△0.7%の下落、前年同月に比べると0.3%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	100.0	△0.5	0.5	保健医療	103.0	0.0	0.0
食 料	98.9	0.4	0.2	交通通信	100.7	△0.1	1.3
住 居	105.9	0.0	2.5	教 育	110.1	0.0	5.3
光熱・水道	88.5	△1.2	△1.7	教養娯楽	101.0	△0.3	0.6
家具・家事用品	99.0	0.0	△1.0	諸 雑 費	102.9	△0.1	0.0
被服及び履物	100.1	△4.4	△0.4	生鮮食品を除く総合	100.4	△0.7	0.3